

箕作文學博士の家庭

門下生

◎兄弟三人一族九人の博士

兄弟三人一族九人の博士とは實に珍らしいいではありませぬか、我が國はるか、遠き西の國と雖もよもや其類はありますまい。こんな名譽ある一族はそも如何なる家庭から出たのでせうか、皆さんの知らん、歎する所でありませう。そして、その九人の博士と云ひますのは、博士は(元八文學博士を以下博士と呼びます)及び、菊地大麓(理學博士)箕作佳吉(理學博士)の三兄弟、故箕作麟祥(法學博士)、吳秀三(醫學博士)、石川千代松(理學博士)、長岡半太郎(理學博士)、美濃部達吉(法學博士)坪井正五郎(理學博士)の諸氏でありますこの中麟祥氏は死去されしも、他の八博士は世に在つてわが學界の重鎮となつてゐます。

◎名士の源泉

三十六

この名譽ある家庭の源泉は、箕作阮甫と云ふ作州津山の藩士であります。この人は蘭書を研究されて、通譯官又は醫を業とせられたとのことです。それから茲に一つ大書特筆すべきは、阮甫氏の相續人即ち博士の嚴父私坪氏のことであります。この人は阮甫氏の養子となつて箕作家を繼いだのですが教育家として、實に立派な人であつたのです。若き時數々外國へ留學し、歸朝後明治二年には日本橋區に三叉學舎と云ふ一大學舎を設けて、専ら教育に従事されました。晩年には高等師範學校を經營し、教育博物館長、帝國圖書館長となつて、終生教育の爲め全力を盡されました。

嚴父の教育法を博士に聞きましたから、その大體を述べて見ませう、嚴父は艱難、節儉自主獨立等の氣風を養成せんと昂められ、克己を以て其精神とせられた様です。それで、自身の出勤にも諸

子の通學にもどんな、天氣でも車を用ゆるやうな
 ことなく、衣服でも質粗であつて、子供などには
 一口と衣服のことは言はせなかつたさうでありま
 す、又獨立自尊と云ふ點から、子供には獨立して
 生活するだけの教育を施し、遺産を與へない主義
 を採られました、それから艱難は藥であると云ふ
 ことから、細少な金錢を小供に與へて旅行させ、
 可愛子には旅をさせよと云ふ諺を實行されたとの
 ことです。

この様に萬事に心深き嚴父は、學問上にも注意
 を怠らず、感ずべきものがあります。學生に施さ
 れし教育法はさておき、今博士等に教へられし一
 端を聞くに、所謂易より難に入り簡より繁に及は
 ずて、教育の原理に基きしやうです。初めより小
 六ヶし漢字を注入せず先づ百人一首英雄百人一
 首三体詩歴史等から始め、其歴史を授くるにも、序
 論總論の如きは後廻しとし、戦争の記事の如き讀
 み易さ興味ある所からせられたさうです。茲に面

白きことは、學問を勉強さすのにある板に穴を開
 け、一度勉強せば一つ穴に目標を入れてその證と
 なし又復習する時は紙よりを入れし筒から一本づ
 つ出してその證としたとの事。

●博士の家庭

博士(文久二年生)の夫人は光子(明治九年生)と
 進十郎氏(前行政裁判所評定官)の娘で、夫人
 の分兄經太氏は工學博士であります(前の九博士
 と合すれば實に十博士となります)。博士に二男二
 女ありまして、長女綾(十二年)、長男秋吉(十一
 年)次女縫(九年)、次男豊三(四年)と言ふ配合の
 よい製造方であります。家庭に就て博士の理想と
 するがありますが、その理由と結果の不一致であ
 る時は社會に對して面目がなく、唯父の行はるゝ
 主義を眞似、その眞似すら實行出来ないことが多
 く、家庭に對する意見は父の爲せることを述べた
 だけで、御免蒙りたいと謙して語られませぬ。只

その一部に就いて話された所を記しませう、

博士が克己主義なることは嚴父より傳はれる美風であつて、育兒上にこれを實行さるゝやうです言行一致は博士の最も昂めらるゝ所であつて、虚言する勿れとは子女へ對しての一大教訓でありませう。それで違約を以て最も不徳とせられ躬行實踐を以て範を示さんとせるやうであります。これ等の主義からして、儉約質素を尊ばれ、所謂ハイカラ的に華奢的に浮薄的に流れないやうに注意されませう。

家庭の讀み物は嚴父と殆んど同主義でありまして、源平盛衰記のやうな興味あり圖書ある軍記物を讀ましめ、小説は成るべくこれを却せられるやうです。又現今の國定小學讀本は餘り簡に失し中等學校になつてから俄かに高尚に傾ける感があるとして、教科書以外に長子に其氣のむいた時、自ら日本外史を授けられます、又衛生上にも大に注意され、運動を奨勵し、諸子の登校は風雨に干は

らず徒歩させられます。そして餘り大切にし過ぎないやうに昂め、所謂寛嚴そのよろしきを得んとせるやうです、これは育兒上大切なことで多くの人其愛に失する傾きがあります。親として子を愛するの情は万人等しく有する所でありませう、子を愛するの餘り、意志薄弱、身体虚弱ならしむる例は少なくありませんから大に注意せねばなりません。

○男女死亡率

統計の示す所によれば生後十歳までは男子の死亡女子よりも多し(即ち我國に於ては生後五歳までは千につき死亡男六四〇三なるに子は五、七同じく六歳より十歳までは男六一二女六〇七なり)、是れ男子の生育女子よりも難きに由る、又十一歳より四十五歳までは女子の死亡男子よりも多し是れ女子の妊娠年齢なると此の年次に於ては婦人に特有の疾病多きによれり、四十五歳以上は更に男子の死亡女子よりも多し、是れ男子の活力漸く凋落するもの多きに由るべしといふ。